

# 令和2年度再エネ関連セミナー 再エネ導入促進セミナー

深刻化する気候変動への適応や人口減少問題への対応策として、地域における自立分散型の再生可能エネルギーによる需給体制の構築の重要性が認識されつつあり、再生可能エネルギー導入の意義が見直されてきています。

このことから、今後の再生可能エネルギーの導入にあたっての重要なキーワードである“地産地消”について、関係者の方々からお話を伺うセミナーを開催します。皆様の御参加をお待ちしております。

## オンデマンド配信（下記の期間内にご視聴ください）

### ▶ 配信期間

令和3年1月29日（金）午後1時から  
令和3年2月5日（金）午後5時まで

### ▶ 参加方法

参加費無料。YouTubeで動画を限定配信します。

ご参加（動画を視聴）いただくには、事前申込みが必要です。令和3年1月27日（水）午後5時までに、下記のURL又は右記のQRコードから申込みフォームにアクセスの上、お申し込みください。

後日、視聴用URLを電子メールで送付します。

<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1608180492576>



### ▶ その他

配信期間終了後に、アンケートのご協力に関するお願いのメールをお送りします。

## プログラム

### 講演1「地域主体の再生可能エネルギー拡大に向けて」（約20分）

講師 やまがた自然エネルギーネットワーク 代表 三浦 秀一 氏  
（東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科 教授）

### 講演2「再エネ電力を地域に届ける」（約20分）

講師 株式会社やまがた新電力 事業推進部 部長 矢作 浩一 氏

### 講演3「自然エネルギーを地域で活かす」（約20分）

講師 ソーラーワールド株式会社 代表 武内 賢二 氏

### 対談「脱炭素経営で地域を元気に」（約20分）

話し手 山田建設株式会社 代表取締役 山田 孝 氏  
聞き手 やまがた自然エネルギーネットワーク 代表 三浦 秀一 氏

※各講演団体のプロフィールは裏面をご参照ください。

主催：宮城県

## 講演団体プロフィール

### ▶ やまがた自然エネルギーネットワーク

山形県で自然エネルギーに取り組む人たちをつなぎ、自然エネルギーによる安全で持続可能な日本を山形からつくることを目標に活動を行う団体。

やまがた自然エネルギー学校を開校し「やまがたRE100シンポジウム」等の先進事例の学び場を提供するほか、山形県の公募による「さくらんぼ市民共同発電所」の開業、木質バイオマス利用促進のための「やまがた薪まきネットワーク」の構築など、エネルギーの地産地消を目指した様々な取組を行っている。



### ▶ 株式会社やまがた新電力

再生可能エネルギーの地産地消を通じた地域貢献を目的として、都道府県レベルでは全国初の新電力会社として、2015年9月30日に発足し、2016年4月1日より事業を開始。

- ①山形県エネルギー戦略に掲げるエネルギーの「地産地消」と「供給基地化」
- ②東日本大震災での大規模停電の教訓を踏まえた「災害対応力の向上」
- ③地域資源を活用して生み出された再生可能エネルギーの導入・拡大を通じた「地域経済の活性化」と「産業振興」

以上の3つを推し進めることにより、「やまがた創生」の実現を目指している。



### ▶ ソーラーワールド株式会社

山形県天童市において、自然エネルギー機器の開発・販売・施工を請け負う専門店。

自然エネルギーの有効活用を中心とした、持続的な社会づくりのため、山間部・市町村・大都市と、人が生活している様々なフィールドでいかにエネルギーをつくり出すか、またそのつくり出したエネルギーをどのようなライフスタイルの中で活用するかを提案している。

「さくらんぼ市民共同発電所」の企画や施工に携わるほか、木質バイオマスボイラーによるマイクロ熱供給システムで暖房と給湯の熱減を地域に供給するなど、地域でつくり出されたエネルギーをひとりひとりが受け取るための仕組みづくりに取り組んでいる。



### ▶ 山田建設株式会社

事業活動において環境負荷の低減を図り、未来の世代のため、ムリ・ムダ・ムラのない持続可能な活動を目指している、山形県最上郡最上町の建設事業者。

社屋に4.9kwの太陽光パネルを設置するほか、発電した電気はV2H機器(車から家へ、家から車へと充電できる機器)を導入することで無駄の少ない自家消費を実現している。

建設現場の作業車等から排出される二酸化炭素は、J-クレジットを購入することで再エネに置き換え、実質的に再エネ100%、脱炭素化を実現した。